

令和2年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	安全・安心分野におけるニーズ・シーズの把握とマッチング			担当部局庁	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	作成責任者					
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(課題実施担当)	井上 慶司					
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第26条			関係する計画、通知等	第5期科学技術基本計画(平成28年1月22日閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略2017(平成29年6月2日閣議決定) 統合イノベーション戦略(平成30年6月15日閣議決定) 統合イノベーション戦略2019(令和元年6月21日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2019(令和元年6月21日閣議決定)						
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	安全・安心に関する、技術ニーズ情報と技術シーズ情報の把握及び目利き能力を有する機関によるマッチングの仕組みの構築を行い、国及び国民の安全・安心の確保に寄与する。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の国民生活や社会・経済活動は、安全保障を巡る環境が一層厳しさを増している中、大規模化・長期化・激甚化する自然災害、感染症の世界的流行、国際的なテロ・犯罪や、サイバー攻撃といった様々な脅威にさらされている。安全・安心を巡る国内外の環境変化に対応するため、観測・予測・分析等を充実して脅威そのものを正確に「知る」とともに、脅威に対応できる技術及び脅威となり得る技術を「知る」必要がある。こうした観点から、技術ニーズの明確化と共有、国内外の研究開発動向の把握及び産学官からの技術シーズの情報収集、技術ニーズと技術シーズのマッチングを行い、我が国において戦略的に育てるべき重要技術課題の明確化や、その研究開発成果の社会実装への道筋づくりを進める。このため、こうしたプロセスを担う新たなシンクタンク機能を含む体制づくりの検討を進める。										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額 (単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	28.6	370				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		0	0	0	28.6	370				
	執行額		-	-	-	-	-				
	執行率(%)		-	-	-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-	-	-				
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	科学技術基礎調査等委託費		28.6	370	「新型コロナウイルス対策関連要望額」222						
	諸謝金		-	0							
	計		28.6	370							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標最終年度
										-	-
										-	-
										-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)											

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績									
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	<p>本件は、国及び国民の安全・安心を確保するために、安全・安心に関する技術ニーズ情報及び技術シーズ情報を把握し、目利き能力を有する機関によるマッチングの仕組みを構築するものである。このため、事前に定量的な数値目標として、成果目標(アウトカム)を設定することができない。</p> <p>本予算を用いて、目利き能力を有する機関がマッチングを行い、その結果が安全・安心の研究開発に活用されることを成果目標とする。</p>									
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
	目利き能力を有する機関によるマッチングを行い、その結果が安全・安心の研究開発に活用されることを成果目標とする。	研究開発に向けて、統合イノベーション戦略等の政府文書への反映を行うことを代替指標とする。	実績	件	-	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込		
	目利き能力を有する機関へ調査を委託し、機関からの報告件数を活動指標とする。		活動実績	件	-	-	-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	2	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込			
	委託調査経費/報告件数		単位当たりコスト	百万円	-	-	-	14.3			
			計算式	委託調査経費/報告件数	-	-	-	28.6百万円/2件			
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	-									
	政策評価	測定制指標	定量的指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			-	実績値	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
		-	-	-	-						
		-	-	-	施策の進捗状況(実績)						
	本事業の成果と上位施策・測定制指標との関係										
	-										
	新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-							
(第一階層) KPI		KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係											
-											
取組事項	分野:	-									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国及び国民の安全・安心を確保するために、安全・安心に資する科学技術において、我が国として伸ばすべき分野や補うべき分野、適切に管理すべき分野を明確化するものであり、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	我が国及び国民の安全・安心を確保するために実施するものであり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	安全・安心の確保に向けて、重要分野の把握を行うものであり、政策目的の達成手段として、必要かつ適切な事業であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
関連事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	
外部有識者の所見			
-			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めるべき。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	所見を踏まえ、事業の適正な実施及び予算の効率的な執行に努める。		

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	-						
平成31年度	内閣府 (新32 - 0012)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

政策統括官(科学技術・イノベーション担当)
28.6百万円

委託【一般競争入札(総合評価)】

委託先
28.6百万円

(シンクタンク機能の体制の設計のため、マッチングのケーススタディを実施。)